

## 荻窪駅周辺まちづくり方針 意見募集の結果

○意見募集期間 平成29年3月24日（金）～平成29年4月7日（金）

○意見提出件数 26件（延べ60項目）

### ○ご意見の概要と区の考え方

No.	項目	ご意見の概要	区の考え方
1	「まちの将来像・目標」に関して	荻窪らしいノスタルジーさを思わせる静かな住宅街と駅前にしてもらいたい。	荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積しています。一方、歴史的・文化的資源が数多く点在し、みどり豊かな住環境も広がっています。 こうした荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かし、その魅力を更に高めていくことが大切であると考えています。 区では、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指し、まちづくりの推進を図っていきます。
		ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりを進めるなど、まちの未来のための価値ある方針だと思う。	今後、本方針を区民・事業者・行政で共有し、一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくことで、まちの将来像・目標の実現を目指していきます。
3	目標Ⅰ-① 「南北連絡動線の充実」に関して	南北連絡動線の充実について、JR・メトロなどとの協議により早期実現を図ってもらいたい。  (他、同趣旨3件)	鉄道事業者との意見交換を継続するとともに、荻窪駅周辺における総合的な交通のあり方と必要となるハード・ソフトの取組などについて、交通事業者等と連携して検討を進め、南北連絡動線の充実などに向けて着実に取り組んでいきます。
		新たな南北連絡動線を設置してもらいたい。  (他、同趣旨2件)	駅構内の安全性・快適性の向上も含め、「南北連絡動線の充実」の実現に向けては、交通関連の取組と合わせて、総合的・一体的にまちづくりを進めていくことが重要と考えています。
5		JRを高架化（または地下化）するのではなく、南北自由通路と青梅街道までの動線の強化を図ってもらいたい。	今後、区では、今回いただいたご意見なども参考とさせていただき、荻窪駅周辺における総合的な交通のあり方と必要となるハード・ソフトの取組などについて、交通事業者等と連携して検討を進め、「(仮称)荻窪駅周辺総合交通戦略」を策定し、南北
6		東口改札前地下通路について、駅乗降者や通行人が増加していると考えられるため、混雑緩和策や災害時対応策を講じてもらいたい。  (他、同趣旨1件)	

7		西口連絡橋通路について、拡幅、バリアフリー化、デッキでの広場の設置など、南北の通行を容易にしてもらいたい。  (他、同趣旨2件)	連絡動線の充実に向けて取り組んでいきます。	
8		現在ある地下道は、駅から離れており、勾配も急で上るのに苦勞するため、もっと容易に自転車や歩行者が南北に通行できるようにしてもらいたい。  (他、同趣旨1件)		
9		西側の環八通り地下通路等の安全性、安心感の向上を図ってもらいたい。		
10		駅西口でのJRとメトロとの乗り換えを容易にするため、東口と同様に地下改札を設けてもらいたい。		
11		JRの西口は、改札内が狭いため改善してもらいたい。また、ホームにエスカレーターを設置してもらいたい。		
12		駅西口の地下鉄入口前が狭いため、線路側の歩道を狭めて、入口側を広くしてもらいたい。		
13		天沼陸橋が老朽化しているため、連続立体交差事業も視野に入れて検討してもらいたい。		荻窪駅周辺は、環状八号線や青梅街道が既に立体交差しており、連続立体交差事業の採択要件を満たしていないことから、JR線路の高架化や地下化は、長期的に慎重に検討していきます。
14	目標I-② 「駅前広場機能の充実」に関して	青少年から高齢者までが気軽に集える空間を提供してもらいたい。		区内最大の交通結節点として、利便性・快適性をさらに高めていくため、バス・タクシーなどのターミナル機能、駅との連絡機能、災害時を含む滞留・交流機能の向上の観点から、駅前広場機能の充実に取り組んでいきます。  北口駅前広場については、駅前大規模商業施設の機能更新期をとらえた駅周辺の基盤整備について、鉄道事業者等の関係者との意見交換を継続しながら、中長期的に検討を進めていきます。
15		防災対策などのため、駅前広場の地下利用を図ってもらいたい。		
16		JR中央線の他の駅に比べると、荻窪駅前には景観に配慮されていないため、機能的かつ杉並区の顔にふさわしい駅前広場にしてもらいたい。		
17		駅南口について、広場、バスターミナルを設置してもらいたい。		

			ます。
18	目標Ⅰ-③ 「歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上」に関して	車椅子の方でも移動し易い歩道を整備してもらいたい。	区では、体系的な道路網の整備を計画的に行うため、平成29年3月に「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」を策定しました。この中で、道路拡幅を行う必要性の高い「優先整備路線」と現況の道路幅員において早期に安全対策を行う必要性が高い「安全対策路線」を選定し、優先的に整備を進めていくこととしています。 また、本方針策定後、方針の具体化に向けた取組の1つとして、総合的な交通戦略を策定・推進していきます。今回いただいたご意見なども参考とし、歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上などに向けて、交通事業者等と連携し、荻窪駅周辺における総合的な交通のあり方と必要となるハード・ソフトの取組などについて検討を進めていきます。
19		小さなお子さんとお母さんが手をつないで歩けるような歩行空間を確保してもらいたい。	
20		駅周辺をベビーカーでも通り易くしてもらいたい。	
21		天沼八幡通りについて、車の通行が多く、子供の安全が心配であるため、時間帯規制などの対応をしてもらいたい。	
22	目標Ⅱ-② 「木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性向上」に関して	青梅街道北側の防災上の課題を区に解決してもらいたい。	区としては、これまで、青梅街道北側の天沼三丁目について、防災面で課題のある地区として、地区防災公園や道路の整備、東京都建築安全条例による「新たな防火規制区域」の指定などにより、防災性の向上を図ってきましたが、引き続き、狭あい道路拡幅整備の推進や建築物の耐震化・不燃化の促進などにより、災害に強く、安全で安心して暮らせるまちを目指し、取り組んでいきます。
23		木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性の向上を図るため、電線類を地中化してもらいたい。	
24	目標Ⅱ-③ 「主要生活道路等の整備」に関して	「電線類の地中化」については、青梅街道北側エリアだけでなく、全エリア共通の取組の方向性として明記してもらいたい。	区としても、無電柱化（電線類の地中化）に関しては、防災機能の強化や歩行空間の確保、都市景観の向上などの観点から、推進すべき取組と考えているところです。ご指摘を踏まえて記述を修正します。 【修正一覧 No.1、3、5、7、8 参照】
25	目標Ⅱ-⑦ 「地域防災力・防犯力の強化」に関して	通学路にたくさんの防犯カメラがあれば、犯罪の予防になるため、南口仲通りに防犯カメラを設置してもらいたい。	区では、区立小学校全41校の通学路に防犯カメラを設置する取組を進めており、今年度末には完了する予定となっています。 また、地域の皆さまがより安全・安心に買

			い物ができる環境の整備に向けて、商店街の区域内に設置する防犯カメラ等の設置費及び維持経費の一部助成を行っています。
26		<p>駅南口に、毎日、生ゴミが不法投棄されている所があるが、「安全安心」な街とするために、そのような悪意ある人の甘えを許さない街にしてもらいたい。</p>	<p>区では、杉並区実行計画（3年プログラム）において、「防犯力が高いまちづくり」、「地域防犯対策の推進」を重点事業として位置づけ、防犯カメラの設置や区民との協働による防犯パトロールの実施、地域住民の防犯自主活動への助成などの取組を進めています。</p> <p>まちの安全・安心には、区民の皆さまとの協働が不可欠です。今後とも、区民の皆さまとともに、犯罪が起こりにくいまちづくりを進めるため、地域防犯力の強化に取り組んでいきます。</p>
27	<p>目標Ⅲ・① 「多様な都市機能の充実」に関して</p>	<p>荻窪駅は交通の結節点であるため、行政機能（施設）を集中的に配置することを検討してもらいたい。</p>	<p>荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する杉並を代表するにぎわいの中心です。</p> <p>こうした地域の特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを推進するため、多様な都市機能の更なる充実に取り組んでいきます。</p>
28	<p>目標Ⅲ・② 「共同建替えや協調的な土地利用の誘導」に関して</p>	<p>北口駅前広場東側に隣接する街区の再開発について、区に支援してもらいたい。  (他、同趣旨2件)</p>	<p>北口駅前広場東側に隣接する街区については、低未利用で木造建築物の密集度が高く防災上課題を抱えている現状にあり、南北連絡動線、駅前広場機能及び拠点駅周辺としての防災機能などの充実も視野に、関係権利者の意向や動向を把握しつつ、共同建替え等の誘導を図っていきます。</p>
29	<p>目標Ⅲ・③ 「商店街等の歩行環境や買い物環境の向上」に関して</p>	<p>駅周辺の商店街の中に、歩道へ旗や看板などを出して歩行の邪魔になっている所があるため、このような行為を禁止にしてもらいたい。</p>	<p>いわゆる公道に許可なく物を置くことは法律で禁止されています。区が管理する道路上に許可なく置かれた物については、設置者に対し除却するよう指導警告を行っています。</p>
30	<p>目標Ⅲ・⑤ 「みどり豊かで良好な住環境の保全・育成」に関して</p>	<p>各エリアの特徴を無視した開発は行わず、駅南側の安全安心な、良好な住環境を今後も保全してもらいたい。</p>	<p>駅南側エリアについては、みどり豊かで良好な住環境や景観を保全・育成しつつ、駅から住宅地へと続く身近な商店街の維持・創出を図るとともに、歴史的・文化的資源の集積を生かし、区民や来街者が歩い</p>

			て楽しめることができるよう、住宅都市としての観光まちづくりを進めていきます。
31	目標Ⅲ-⑥ 「緑化推進とオープンスペースの充実」に関して	駅前にもっと緑を増やしてもらいたい。	駅周辺部は、みどりが少ない状況となっており、敷地・街区の状況に応じた緑化の推進に取り組んでいきます。
32	目標Ⅳ-① 「良好な景観づくりの推進」に関して	天沼陸橋側の青梅街道歩道を杉並公会堂側の歩道と同様に舗装し、良好な景観づくりを推進してもらいたい。	まちづくりを推進するうえで、景観への配慮は欠かせないものであり、環状八号線や青梅街道における魅力的な沿道景観の形成など、それぞれの特性に応じた良好な景観づくりに取り組んでいきます。 歩道の舗装など具体的な取組については、必要に応じて、道路管理者との連携を図りながら検討を進めていきたいと考えています。
33	目標Ⅳ-② 「歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりの推進」に関して	荻外荘等の観光資源の整備を進めてもらいたい。	荻窪駅周辺に数多く点在する歴史的・文化的資源を生かし、区民や来街者が歩いて楽しめることができるような散策ルートやサイン・案内板等を整備するなど、荻外荘を中心に周辺エリアをハード・ソフトの両面から観光資源として整備していきます。
34	目標Ⅳ-③ 「地域の魅力発信」に関して	街案内のための電子的な表示パネル等を設置してもらいたい。	地域の魅力を発信していくため、イベント・企画展等の開催、インターネットやSNS等を活用した地域情報の発信、トランスボックスラッピングによる歴史的・文化的資源のPRなどとともに、観光資源等の情報発信拠点の整備に向けた検討を進めていきます。
35	「まちづくり方針の実現に向けて」に関して	長期間の構想は不確実であり、まちづくりを前進させるため、区には、積極的に短期的な取組へ関与してもらいたい。	まちづくりの推進には、本方針を区民・事業者・行政が共有し、それぞれが担う役割と責務を果たしながら取り組むことが必要と考えています。 区では、本方針に基づき、行政主体の整備事業等の実施、民間事業等の適切な規制・誘導、区民主体のまちづくり活動の支援に取り組むとともに、総合的な視点から、区民・事業者と連携した取組の進行管理と調整を図っていきます。
36		子育てをしている世代として、まちづくりの話し合いの場に参加させてもらい	荻窪駅周辺には、荻窪まちづくり会議をはじめ、地域主体によるまちづくりの活動

		たい。	<p>を行っている多様な団体等があります。</p> <p>区では、そうした地域の関係者との意見交換や情報共有を行いながら、まちづくりの推進を図っていきたいと考えています。</p>
37		<p>方針の中で打ち出している内容が、今後の評価や必要に応じた見直しを行いやすいかたちで、わかりやすく整理されていると思う。</p> <p>(他、同趣旨1件)</p>	<p>本方針については、各取組の進捗状況や効果を検証しながら、概ね5年を目途に見直しを行い、まちの動向や社会経済状況の変化に的確に対応したまちづくりの推進を図っていきたいと考えています。</p>
38		<p>短期的な取組に予算をつけ、早期に成果を見せてもらいたい。</p>	<p>本方針は、「杉並区まちづくり基本方針」を補完し、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにすることによって、荻窪駅周辺における個別具体のまちづくり計画や取組へのスムーズな橋渡しの役割を担うものです。</p>
39		<p>取組の全体工程として、いつ工事着工や都市計画決定などが行われるのか明確にしてほしい。</p>	<p>個別具体の計画・取組については、緊急性や実現可能性、費用対効果等を踏まえつつ、その実施時期について、短期【概ね5年】、中長期【概ね5～20年】的な視点をもって、戦略的・計画的に進めていきたいと考えています。</p>
40	その他	<p>都市計画道路の未整備路線について、早期実現を図ってもらいたい。</p>	<p>東京都と特別区及び26市2町では、都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、概ね10年間で優先的に整備する路線を定めた「事業化計画」を更新し、平成28年3月に「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を策定しました。今後、この整備方針に基づき、都市計画道路の整備を着実に進め、計画的かつ効率的に道路ネットワークの形成を進めていきたいと考えています。</p>
41		<p>J R線路南側沿い道路について、双方方向通行化を実施してもらいたい。</p> <p>(他、同趣旨1件)</p>	<p>荻窪駅南口の都市計画道路補助131号線については、地域からの意見などを踏まえて一方通行化したという経緯があります。</p>
42		<p>J R線路南側沿い道路の一方通行を維持してもらいたい。</p>	<p>将来、周辺道路の交通状況や環境などに大きな変化があった場合には、地元のご意見を十分聞きながら検討していきます。</p>
43		<p>エイトライナーについて、方針に記述を追加してもらいたい。</p>	<p>エイトライナーについては、新たな公共交通として、別途、エイトライナー促進協議会などで検討されていますが、具体的な</p>

			計画として進展している状況にはありません。そのため、本方針には反映していませんが、今後の進捗を注視し、必要に応じて、方針の見直しなどを図っていきます。
44		駅西口にトイレを設置してもらいたい。	<p>少子高齢化が今後さらに進むことを踏まえると、いつでも誰でも使えるトイレが身近にあることは、「人にやさしい、歩いて楽しめるまち」を目指していくうえで重要なことと考えています。</p> <p>しかし、トイレの設置にあたっては、バリアフリー対応とするため、一定の規模・設備が必要になること、また、安全対策上、車道との十分な離隔の確保や歩行者の通行の支障にならないことなどに配慮しなければなりません。荻窪駅周辺については、駅構内のトイレが充実していることもあり、現在、新たに設置する予定はありません。</p>
45		駅南口の喫煙所について、今ある場所では景観的に美しくないため、位置を再検討してもらいたい。	<p>喫煙所の設置場所については、地権者の了解が得ることが困難なことや所管警察署との協議が必要となることなどから、いろいろと調整した結果、現在の位置にと至っています。構造についても、道路法上の工作物の占用規定に抵触しないようにすることが求められており、煙が外には漂わない、例えば、固定の建物様式等の設置は困難な状況にあります。昨年、パーテーション型に改良したところですが、今後も引き続き、非喫煙者の方にとできるだけ迷惑が及ばない場所や構造を検討していきたいと考えています。</p>
46		路上喫煙者対策を強化してもらいたい。	<p>また、区では、「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」により、区内全域で歩きタバコ及び吸殻のポイ捨てを禁止しています。この喫煙ルールを徹底させるため、朝の通勤時間帯を中心に、民間警備会社による巡回パトロールを行っています。ちなみに、月間の指導件数は約170件～200件で、歩きタバコ等の違反者の数は以前より減っていますが、今後も、工夫を凝</p>

			らし、より効果的な取り締まりに結び付くよう努めていきます。
47		他地域からでも訪れたい魅力ある商店街づくりをしてもらいたい。	区では、これまでも商店街の活性化に積極的に取り組んできました。杉並区実行計画（3年プログラム）では、「地域特性を活かした商店街活性化促進」を重点事業に位置づけ、将来のまちづくりにつながる商店街の取組への支援に取り組んでおり、引き続き、地域ににぎわいをもたらす商店街づくりを進めていきます。

○荻窪駅周辺まちづくり方針（案）の修正一覧

No.	修正箇所	方針（案）	修正内容	修正理由
4. テーマ別の取組の方向性 目標Ⅱ. 「災害に強く、安全で安心して暮らせるまち」に向けて				
1	P. 15	③ 主要生活道路等の整備 ●『歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上』とともに、災害時における円滑な消防活動や救急・救援活動、安全な避難路の確保の観点から、主要生活道路等の整備_____に取り組みます。	③ 主要生活道路等の整備 ●『歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上』とともに、災害時における円滑な消防活動や救急・救援活動、安全な避難路の確保の観点から、主要生活道路等の整備 <u>や無電柱化の推進</u> に取り組みます。	提出された意見を踏まえ、記述内容を修正
2	P. 15	写真 ▲ <u>消防車が通行困難な狭あい道路</u>	写真 ▲ <u>緊急車両の通行の様子</u>	より適切な記述に修正
5. エリア別の取組の方向性 ① 駅周辺エリアの主な取組の方向性				
3	P. 20	4. 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上<目標Ⅰ-③、目標Ⅲ-③> ●商店街等の歩行環境や買い物環境の向上の観点から、歩行空間のバリアフリー化や路面のカラー舗装化、路上障害物対策の強化_____などに取り組みます。	4. 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上<目標Ⅰ-③、目標Ⅲ-③> ●商店街等の歩行環境や買い物環境の向上の観点から、歩行空間のバリアフリー化や路面のカラー舗装化、路上障害物対策の強化、 <u>無電柱化の検討</u> などに取り組みます。	提出された意見を踏まえ、記述内容を修正
4	P. 20	写真 ▲ <u>トランスボックスラッピング</u> ( <u>高円寺駅周辺</u> での事例)	写真 <u>差し替え</u> ▲ <u>トランスボックスラッピング</u> ( <u>荻窪駅南口</u> での事例)	平成 29 年 4 月時点の状況にあわせて修正
5. エリア別の取組の方向性 ② 青梅街道北側エリアの主な取組の方向性				
5	P. 22	1. 主要生活道路等の整備 <目標Ⅱ-③> ●防災性の向上、安全で快適な歩行者空間の確保や自転車利用の推進などの観点から、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づき、主要生活道路の優先整備路線(日大通り)の拡幅整備に取り組みます。また、道路幅員	1. 主要生活道路等の整備 <目標Ⅱ-③> ●防災性の向上、安全で快適な歩行者空間の確保や自転車利用の推進などの観点から、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づき、主要生活道路の優先整備路線(日大通り)の拡幅整備に取り組みます。また、道路幅員	より適切な記述に修正

		や沿道土地利用を踏まえた電線類の地中化の検討に取り組みます。	や沿道土地利用を踏まえた無電柱化_____の検討に取り組みます。	
6	P. 22	<p>2. 狭あい道路拡幅整備の推進 &lt;目標Ⅱ-④&gt;</p> <p>●「杉並区狭あい道路の拡幅に関する条例」による拡幅整備及び後退用地における支障物件除却の指導・勧告等、重点地区（天沼地区）での戸別訪問によるセッバックの協力依頼など、狭あい道路拡幅整備事業を推進します。また、拡幅整備後の電柱セッバックを電力事業者等へ要請し、防災性の向上を図ります。</p>	<p>2. 狭あい道路拡幅整備の推進 &lt;目標Ⅱ-④&gt;</p> <p>●「杉並区狭あい道路の拡幅に関する条例」による拡幅整備及び後退用地における支障物件除却の指導・勧告等、重点地区（天沼地区）での戸別訪問による拡幅整備_____の協力依頼など、狭あい道路拡幅整備事業を推進します。また、拡幅整備後の電柱セッバックを電力事業者等へ要請し、防災性の向上を図ります。</p>	より適切な記述に修正
7	P. 22	<p>5. 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上 &lt;目標Ⅰ-③、目標Ⅲ-③&gt;</p> <p>●商店街等の歩行環境や買い物環境の向上の観点から、歩行空間のバリアフリー化や路面のカラー舗装化、路上障害物対策の強化_____などに取り組みます。</p>	<p>5. 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上 &lt;目標Ⅰ-③、目標Ⅲ-③&gt;</p> <p>●商店街等の歩行環境や買い物環境の向上の観点から、歩行空間のバリアフリー化や路面のカラー舗装化、路上障害物対策の強化、無電柱化の検討などに取り組みます。</p>	提出された意見を踏まえ、記述内容を修正
5. エリア別の取組の方向性 ③ 駅南側エリアの主な取組の方向性				
8	P. 24	<p>3. 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上 &lt;目標Ⅰ-③、目標Ⅲ-③&gt;</p> <p>●商店街等の歩行環境や買い物環境の向上の観点から、歩行空間のバリアフリー化や路面のカラー舗装化、路上障害物対策の強化_____などに取り組みます。</p>	<p>3. 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上 &lt;目標Ⅰ-③、目標Ⅲ-③&gt;</p> <p>●商店街等の歩行環境や買い物環境の向上の観点から、歩行空間のバリアフリー化や路面のカラー舗装化、路上障害物対策の強化、無電柱化の検討などに取り組みます。</p>	提出された意見を踏まえ、記述内容を修正